

聖霊降臨後第 23 主日特禱 (特定 26)

全能の神よ、あなたは独りのみ子を与えてわたしたちの罪のいけにえとし、また清い生涯の模範とされました。どうか深く感謝してその計り知れない恵みを受け、常に力を尽くしてみ跡を踏むことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 申命記 6章 1-9 節

これは、あなたたちの神、主があなたたちに教えよと命じられた戒めと掟と法であり、あなたたちが渡って行って得る土地で行うべきもの。あなたもあなたの子孫も生きている限り、あなたの神、主を畏れ、わたしが命じるすべての掟と戒めを守って長く生きるためである。イスラエルよ、あなたはよく聞いて、忠実に行いなさい。そうすれば、あなたは幸いを得、父祖の神、主が約束されたとおりに、乳と蜜の流れる土地で大いに増える。聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。今日わたしが命じるこれらの言葉を心に留め、子供たちに繰り返し教え、家に座っているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、これを語り聞かせなさい。更に、これをしるしとして自分の手に結び、覚えとして額に付け、あなたの家の戸口の柱にも門にも書き記しなさい。

詩 編 第 119 編 1-16 節

- 1 幸せな人、道からそれず // 主の教えに従って歩む人
- 2 その諭しをとがなく守り // 心を尽くして神を求め
- 3 悪に走ることなく // 神の道を歩む人
- 4 あなたの定めをよく守るようと // 神よ、あなたはわたしに命じられた
- 5 あなたのおきてを守るために // わたしの歩みを支えてください
- 6 あなたの勧めを前にして // 恥じ入ることがないように
- 7 あなたの正しい審きを知り // わたしは素直な心で感謝する
- 8 あなたの正しいおきてを守るわたしを // 決して見捨てないでください
- 9 若い人の歩む道を清く保つものは何か // それは神のみ言葉
- 10 神よ、あなたの勧めからそれないように // 心を尽くしてあなたを求める
- 11 罪を犯すことのないように // わたしは仰せを心に抱く
- 12 主よ、あなたはほむべき方 // わたしにおきてを示してください
- 13 あなたの示すすべての審きを // わたしは宣べ伝え

- 14 あなたの諭しの道を // 宝のように喜び受ける
15 あなたの定めを思い巡らし // あなたの道に目を注ぐ
16 あなたのおきてを喜びとし // あなたのみ言葉を忘れない

使徒書 ヘブライ人への手紙 7章 22-28 節

このようにして、イエスはいつそう優れた契約の保証となられたのです。また、レビの系統の祭司たちの場合には、死というものがあるので、務めをいつまでも続けることができず、多くの人たちが祭司に任命されました。しかし、イエスは永遠に生きているので、変わる事のない祭司職を持っておられるのです。それでまた、この方は常に生きていて、人々のために執り成しておられるので、御自分を通して神に近づく人たちを、完全に救うことができになります。このように聖であり、罪なく、汚れなく、罪人から離され、もろもろの天よりも高くされている大祭司こそ、わたしたちにとって必要な方なのです。この方は、ほかの大祭司たちのように、まず自分の罪のため、次に民の罪のために毎日いけにえを献げる必要はありません。というのは、このいけにえはただ一度、御自身を献げることによって、成し遂げられたからです。律法は弱さを持った人間を大祭司に任命しますが、律法の後になされた誓いの御言葉は、永遠に完全な者とされておられる御子を大祭司としたのです。

福音書 マルコによる福音書 12章 28-34 節

彼らの議論を聞いていた一人の律法学者が進み出、イエスが立派にお答えになったのを見て、尋ねた。「あらゆる掟のうちで、どれが第一でしょうか。」イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」律法学者はイエスに言った。「先生、おっしゃるとおりです。『神は唯一である。ほかに神はない』とおっしゃったのは、本当です。そして、『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くす献げ物やいけにえよりも優れています。」イエスは律法学者が適切な答えをしたのを見て、「あなたは、神の国から遠くない」と言われた。もはや、あえて質問する者はなかった。